

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日 定時株主総会・期末配当 中間配当	毎年3月31日 毎年9月30日
公告方法	当社ホームページ http://www.nkkswitches.co.jp/において、電子公告いたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に公告いたします。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

- ・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・「配当金計算書」について
配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。

NKKスイッチズ株式会社

■お問い合わせ

〒213-8553 神奈川県川崎市高津区宇奈根715-1
総務部：TEL.044 (813) 8025 FAX.044 (833) 5270

第64期報告書

平成28年4月1日 ▶ 平成29年3月31日

NKKスイッチズ株式会社

スイッチ分野で世界のトップを目指す——

事業拡大よりもお客様に信頼され、感動していただける差別化された
特長ある企業を目指しています。

New Products



LP01シリーズ

部分照光タイプ
照光式押ボタンスイッチ

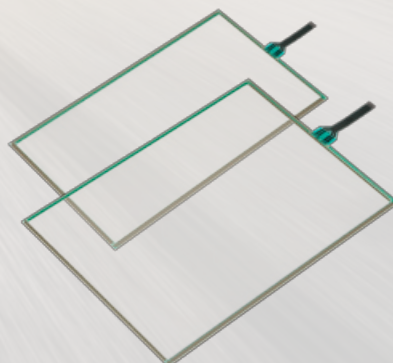
的確な選択、たしかな輝き

FTシリーズ

アナログタイプ4線式
タッチパネル

ワイドサイズ、大型サイズが加わり、
サイズバリエーションを拡充

New Products



■ トップインタビュー

課題を克服するため
体制を再構築した3年間で踏まえ、
真のグローバル企業を目指して
新中期経営計画をスタートさせます。

代表取締役社長

大橋智成



この1年間の外部環境と、
当期業績の概況をお聞かせください。

2017年3月期の各地域の経済・市場概況につきましては、日本においては企業収益や設備投資の一部に緩やかな改善が見られるものの、海外においては新興国経済の減速、米国の政権移行等に伴う世界情勢の不安定化、英国のEU離脱問題などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

こうした中、当社グループは3か年にわたる中期経営計画「Accomplish100」を推進してまいりました。国内市場におきましては一部の業種に活気があるものの、一業種に偏ることなく多様な業種を万遍なく網羅する当社グループのビジネスモデルは、力強さを欠く結果となりました。北米市場におきましては販売体制の抜本的見直しを実施し、アジア市場におきましては未だ回復基調にない中国経済の影響がアジア市場全体を覆う中ウェブを活用した販売活動を強化するなど、積極的に施策を展開してまいりました。しかしながら海外での販売比率が高まる中、円高基調で推移したことは当社グループにとりましては逆風となりました。

これらの結果、当社グループの2017年3月期における売

上高は69億9千7百万円（前年同期比8.2%減）、営業損失は2億7千4百万円、経常損失は為替差損が8千9百万円発生したこと等により、3億2千9百万円となりました。

中期経営計画「Accomplish100」において、
どのような点が成長したとお考えですか。

今から3年前の2014年4月1日、激動の時代、グローバル化・ボーダーレス化に対応するため社名を変更し「日本開閉器工業株式会社」から「NKK Switches」として再スタートしました。それまでも当社グループは「日本から世界へ」とその対応を推進してきましたが、激変する社会に対応し「世界NO.1の産業用スイッチメーカー」になるために、当社グループが「変わる」ことを世に宣言した日でもあります。

それと同じ日、当社グループは2014年度から2016年度までの中期経営計画「Accomplish100」をスタートさせました。そして「Accomplish100」の中で、市場の変化に対応するために、様々な「変わる」を実現させてまいりました。販売面におきましては、ウェブを活用した販売活動を強化するために、日本をはじめグループ各社のウェブサイトのリニューアル、新たなカタログディストリビューターとの提携、中国

の電子商取引（EC）最大手アリババとの契約、中国市場における独自のEコマースの開始および流通倉庫の新設、さらに北米市場における販売体制の抜本的見直しや中国市場におけるチャンネルの体質強化、「モノ売り」の単体ビジネスから「コト売り」のソリューションビジネスへの変革に取り組みました。生産面におきましては、メーカーとしての市場への供給責任を果たすべくリスクを分散するため、第3の生産拠点としてフィリピン・マクタン工場を設立し、2016年5月から本格稼働しております。これにより、工場間で補完機能を持たせることができるようになり、被災等を受けても供給責任を果たせるようになりました。日本および中国工場からマクタン工場への生産移管には3年間を予定しており、計画通りに進捗しております。また、いわき工場をタッチパネル専門工場化し、クリーンルームの拡大と生産設備の増強により生産面・品質面が格段に向上しました。開発面においては、高付加価値製品をタイムリーに市場投入するため、3DCAD・3Dプリンター・構造/流体解析システムの導入など研究・開発環境の整備をするとともに、3Dプリンターを活用した試

作サービスを開始いたしました。また、製品のさらなる品質強化を図るため品質情報一元化システムを導入いたしました。

「品質情報一元化システム」とは どのようなものでしょうか。

当社グループは、製品品質の高さは武器であると考えており、自信を持っております。しかしながら競合メーカーも年々レベルアップしてきており、以前に比べると差が縮まっています。そこで、NKKブランドの品質をさらに強化してグローバル市場での競争力を確固たるものにするため、社内の品質・技術情報を一元的に管理するとともに、2016年11月から日本・中国・フィリピンにあるすべての工場にも、それぞれの工程において決められたことを確実にやっていないと次の工程へ進めない仕組みを系統的に導入いたしました。これにより品質を上流工程で作り込むことで品質を向上させ安心・安全の確立を目指すとともに、どの工場で生産しても安定したNKK品質を供給できる体制を実現しております。

新中期経営計画「Change100」の 事業戦略をお聞かせください。

これまで当社グループは3カ年の中期経営計画を採用してまいりましたが、今回は4カ年計画で最終年度に連結売上高100億円、連結営業利益10億円を目指します。その軸となるのが「グローバル化対応」と「勝てる武器の創造」であり、次の5項目を基本戦略として推進してまいります。

1番目は、「モノ売り」から「コト売り」への変革です。市場の需要がこれだけ小さくなると、良い製品というだけでは売れません。モノ余りの時代にあって、当社グループは単なるスイッチ販売からの脱却を図り、スイッチに新たな価値を付加したソリューションビジネスに転換することにより、価格競争に巻き込まれないビジネスモデルを確立してまいります。2番目は、真のマーケットイン製品の提案です。当社グループがグローバル企業になるには、世界のマーケットを知る必要があります。「日本で必要だから、世界でも必要だろう」という発想ではなく、それぞれのマーケットのための新製品を考えていかなければいけません。そのためには、マーケティング体制もグローバル化していく必要があります。製品企画機能もマーケティング体制に取り込むことによりマーケットイン製品提案を活性化してまいります。3番目は、「売れる新製品」の確実な上市です。マーケティングで得られた情報をもとに売れる新製品を創出し、タイムリーに市場に投入してまいります。4番目は、安心・安全の確立です。品質は今後も手放せない武器であることは間違いありません。このため品質向上を図るとともに、お客様に対して製品に対する安心・安全の確立に努めてまいります。そして、5番目が原価低減です。世の中は変化し、どんな高品質で独創的な製品を開発しても価格競争力がないと製品は売れません。今後とも高品質で独創的な新製品開発に努める中で、海外への生産移管や生産体制の見直しを進めると同時に、原価を抜本的に見直し、市場競争力のある原価の実現にも注力してまいります。

以上の戦略のもと、最終年度に目標を達成したいと考えております。

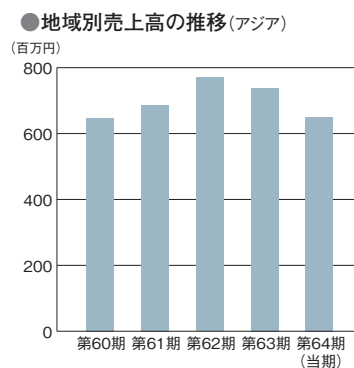
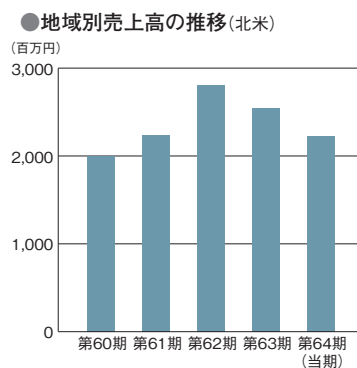
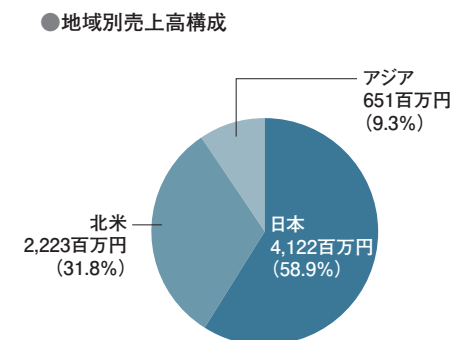
2018年3月期の事業環境について、 どのように見ていらっしゃいますか。

今後の経済情勢につきましては、国内景気には一部に明るさが見えるものの、世界経済は予断を許さない情勢が続くものと思われま。このような環境の中、当社グループは真のグローバル企業となるべく、新中期経営計画「Change100」をスタートさせました。当社グループの技術力とマーケットを調和・融合させることにより新しい価値を生み出し、新たな市場・顧客の開拓を行う中で新規ビジネスモデルを構築して、過去の延長線上にはない成長を達成させていきたいと考えております。2017年3月期に業績が伸びなかった要因として、当社製品が今期活況だった分野と関わり度合いが少なかったことと考えております。このため来期はグローバル特定市場を設けて徹底的に深掘りし、特定市場を深掘りするに必要な新製品を、マーケティングによって得られた情報をもとに5製品以上市場に投入してまいります。

最後に、株主の皆様へのメッセージをお願いします。

2017年3月期は厳しい業績となりましたが、各市場とも受注高が売上高を上回っており、われわれの業績は今後好転するものと考えております。また中期経営計画「Accomplish100」で推進してきた「変わる」が、今後実を結ぶものと確信しております。当社グループとしましてはこれまで以上に「変わる」ということを念頭において取り組み、皆様にも新しい当社グループのスタイルをお見せしたいと考えております。株主の皆様にはなにとぞご理解いただき、変わらないご支援のほどをお願い申し上げます。

■ 地域別売上高の推移



進化するNKKGの生産体制

NKKグループは市場への供給責任を果たすべく、安定した製品の市場供給体制の構築に取り組んでおります。

中期経営計画「Accomplish100」を推進する中において、グループ全体のスイッチ生産体制は2拠点から3拠点になりました。日本では「生産全自動化を進めた高付加価値品」、中国では「難度の高い半自動機+手作業製造品」、フィリピンでは「労働集約型の製品」と、各地域特性を生かし役割を明確化した生産体制とし、最適化を図るとともに、被災等により工場機能が低下しても、他工場で補完することでお客様への製品供給を継続することを意図しております。

また各工場では、正しい最新の工程で作業したことを確認しないと次工程に進めない「品質情報一元化システム」を導入することにより、どの工場でも生産しても安定したNKK品質を供給できる体制を実現しております。

現在は3拠点での生産バランスを平準化するよう取り組んでおり、2年後には日本、中国、フィリピンでそれぞれ1/3程度の生産を目指してまいります。

タッチパネルの生産体制に関しては、「いわき工場」を専門工場とし、クリーンルームの拡大や生産設備増強により、生産面・品質面での質が格段に向上いたしております。今後もタッチパネルをNKKグループのもうひとつの柱とすべくさらなるレベルを目指してまいります。

NKKは今後も、世界で最も知られ、世界で最も好まれ、世界で一番選ばれるスイッチサプライヤーを目指し、邁進してまいります。



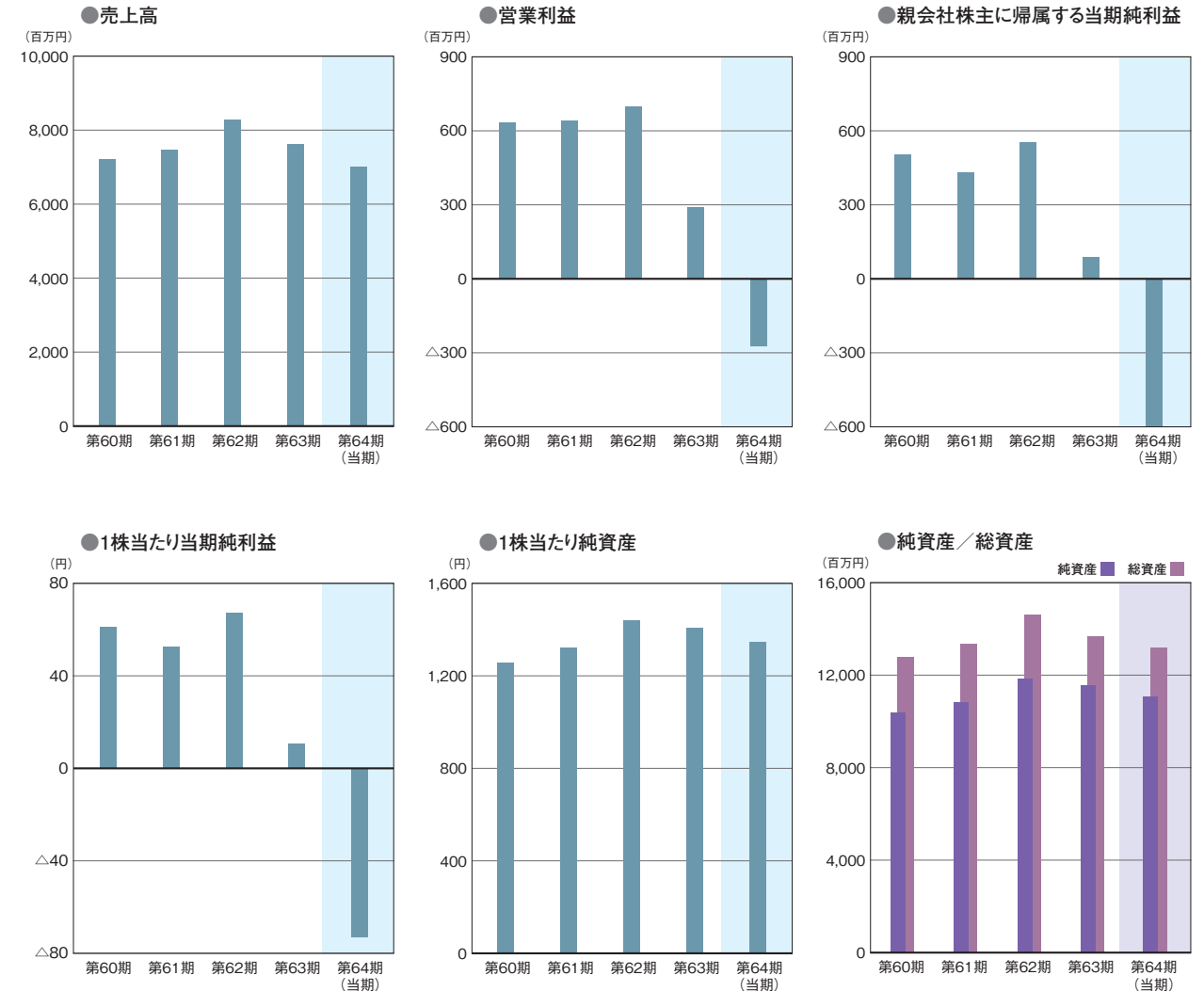
日本：Gシリーズ全自動組立機



中国：SSシリーズ全自動組立機



フィリピン：クリーンルーム生産風景



■ 連結貸借対照表

(単位:千円)

科目	当期 (平成29年3月31日)	前期 (平成28年3月31日)
資産の部		
流動資産	9,384,375	9,895,134
現金及び預金	5,582,738	5,222,265
受取手形及び売掛金	1,298,465	1,286,539
商品及び製品	1,059,964	1,332,990
仕掛品	87,879	105,359
原材料及び貯蔵品	1,034,970	1,312,348
繰延税金資産	82,628	172,920
前払費用	42,219	42,641
その他	198,205	422,977
貸倒引当金	△ 2,696	△ 2,908
固定資産	3,800,904	3,788,384
有形固定資産	2,162,903	1,962,206
建物及び構築物	1,201,742	880,466
機械装置及び運搬具	279,701	105,184
工具、器具及び備品	167,714	203,090
土地	382,291	382,511
建設仮勘定	131,454	390,954
無形固定資産	266,296	365,100
投資その他の資産	1,371,704	1,461,076
投資有価証券	1,194,642	980,170
長期預金	—	300,000
その他	177,062	180,906
資産合計	13,185,280	13,683,519

(単位:千円)

科目	当期 (平成29年3月31日)	前期 (平成28年3月31日)
負債の部		
流動負債	1,551,141	1,637,866
買掛金	940,625	1,004,615
未払法人税等	13,021	376
賞与引当金	102,637	99,632
役員賞与引当金	15,600	20,400
未払金	239,404	225,608
未払消費税等	3,383	2,234
未払費用	187,035	207,116
その他	49,433	77,882
固定負債	579,464	480,640
繰延税金負債	227,186	131,367
退職給付に係る負債	89,347	100,526
役員退職慰労引当金	147,480	133,000
その他	115,450	115,745
負債合計	2,130,606	2,118,507
純資産の部		
株主資本	10,561,967	11,228,475
資本金	951,799	951,799
資本剰余金	833,305	833,305
利益剰余金	8,937,609	9,603,814
自己株式	△ 160,746	△ 160,443
その他の包括利益累計額	492,659	336,536
その他有価証券評価差額金	479,201	320,961
為替換算調整勘定	13,458	15,575
非支配株主持分	46	—
純資産合計	11,054,673	11,565,012
負債純資産合計	13,185,280	13,683,519

■ 連結損益計算書

(単位:千円)

科目	当期 平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで	前期 平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで
売上高	6,997,170	7,621,150
売上原価	4,572,900	4,604,518
売上総利益	2,424,270	3,016,632
販売費及び一般管理費	2,698,579	2,726,640
営業利益又は営業損失(△)	△ 274,309	289,991
営業外収益	56,900	57,899
営業外費用	112,045	110,696
経常利益又は経常損失(△)	△ 329,454	237,194
特別利益	—	102,446
特別損失	52,253	2,137
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	△ 381,707	337,503
法人税、住民税及び事業税	100,427	128,885
法人税等調整額	118,165	121,219
当期純利益又は当期純損失(△)	△ 600,301	87,398
非支配株主に帰属する当期純利益	46	—
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△ 600,347	87,398

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科目	当期 平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで	前期 平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	615,618	25,270
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 156,909	△ 833,561
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 66,172	△ 90,841
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 32,063	△ 78,448
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	360,472	△ 977,581
現金及び現金同等物の期首残高	5,222,265	6,199,847
現金及び現金同等物の期末残高	5,582,738	5,222,265

■ 連結株主資本等変動計算書

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

(単位:千円)

	株 主 資 本				その他の包括利益累計額			非支配 株主持分	純 資 産 合 計	
	資 本 金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合 計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定			その他の包括 利益累計額合計
当期首残高	951,799	833,305	9,603,814	△ 160,443	11,228,475	320,961	15,575	336,536	—	11,565,012
当期中の変動額										
剰余金の配当			△ 65,856		△ 65,856					△ 65,856
親会社株主に帰属する当期純損失			△ 600,347		△ 600,347					△ 600,347
自己株式の取得				△ 303	△ 303					△ 303
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)						158,240	△ 2,116	156,123	46	156,170
当期中の変動額合計	—	—	△ 666,204	△ 303	△ 666,508	158,240	△ 2,116	156,123	46	△ 510,338
当期末残高	951,799	833,305	8,937,609	△ 160,746	10,561,967	479,201	13,458	492,659	46	11,054,673

■ 貸借対照表

(単位:千円)

科目	当期	前期
	(平成29年3月31日)	(平成28年3月31日)
資産の部		
流動資産	8,279,246	8,375,675
固定資産	4,352,386	3,914,645
資産合計	12,631,633	12,290,321
負債の部		
流動負債	2,007,792	1,698,597
固定負債	1,013,676	463,118
負債合計	3,021,469	2,161,715
純資産の部		
株主資本	9,130,962	9,807,644
資本金	951,799	951,799
資本剰余金	833,305	833,305
利益剰余金	7,506,604	8,182,982
自己株式	△ 160,746	△ 160,443
評価・換算差額等	479,201	320,961
純資産合計	9,610,163	10,128,605
負債純資産合計	12,631,633	12,290,321

■ 株主資本等変動計算書

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

(単位:千円)

	株主資本								評価・換算差額等		純資産計		
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				自己株式	株主資本計	その他有価証券評価差額金		評価・換算差額等	
		資本準備金	資本剰余金計	利益準備金	その他利益剰余金								利益剰余金計
				固定資産圧縮記帳積立金	別途積立金	繰越利益剰余金							
当期首残高	951,799	833,305	833,305	181,917	24,167	5,600,000	2,376,898	8,182,982	△ 160,443	9,807,644	320,961	320,961	10,128,605
当期中の変動額													
剰余金の配当							△ 65,856	△ 65,856		△ 65,856			△ 65,856
固定資産圧縮記帳積立金の取崩					△ 1,084		1,084						
当期純損失							△ 610,521	△ 610,521		△ 610,521			△ 610,521
自己株式の取得									△ 303	△ 303			△ 303
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)											158,240	158,240	158,240
当期中の変動額合計	-	-	-	-	△ 1,084	-	△ 675,293	△ 676,378	△ 303	△ 676,681	158,240	158,240	△ 518,441
当期末残高	951,799	833,305	833,305	181,917	23,082	5,600,000	1,701,604	7,506,604	△ 160,746	9,130,962	479,201	479,201	9,610,163

■ 損益計算書

(単位:千円)

科目	当期	前期
	平成28年4月1日から平成29年3月31日まで	平成27年4月1日から平成28年3月31日まで
売上高	6,080,637	6,785,348
売上原価	4,649,001	4,697,060
売上総利益	1,431,635	2,088,288
販売費及び一般管理費	1,884,724	1,956,466
営業利益又は営業損失(△)	△ 453,089	131,822
営業外収益	99,160	140,095
営業外費用	57,798	59,473
経常利益又は経常損失(△)	△ 411,727	212,443
特別利益	-	102,446
特別損失	48,160	10,980
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	△ 459,887	303,909
法人税、住民税及び事業税	61,324	40,453
法人税等調整額	89,308	58,000
当期純利益又は当期純損失(△)	△ 610,521	205,455

■ 会社概要

商号	NKKスイッチズ株式会社 (NKK SWITCHES CO., LTD.)
創業	昭和26年4月1日
設立	昭和28年12月11日
資本金	951,799千円
従業員数	連結252名 単体186名
本社事務所	〒213-8553 神奈川県川崎市高津区宇奈根715-1
事業所	名古屋営業所 大阪営業所 福岡営業所
主な事業内容	産業用各種スイッチの製造・販売
連結子会社	NKKスイッチズ パイオニクス株式会社 NKK Switches of America, Inc. NKK Switches Hong Kong Co., Ltd. 恩楷楷(上海)开关有限公司 NKK Switches Mactan, Inc.
ホームページ	http://www.nkkswitches.co.jp/
上場取引所	東京証券取引所 (JASDAQ)

■ 取締役および監査役

代表取締役社長	大橋 智成
取締役	青木 明裕
取締役	塚 正 勉
取締役	大橋 宏成
取締役	芦 澤 直太郎 (社外)
常勤監査役	中村 正
監査役	片山 隆之 (社外)
監査役	吉原 重樹 (社外)

■ 株式の状況

発行可能株式総数	26,000,000株
発行済株式の総数	8,425,200株
株主数	610名

■ 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
有限会社ビッグブリッチ	1,320	16.03
株式会社三井住友銀行	410	4.99
株式会社三菱東京UFJ銀行	348	4.23
大橋 宏成	293	3.56
大橋 尚子	280	3.40
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	279	3.38
太陽生命保険株式会社	225	2.74
大橋 千津子	201	2.44
大橋 智成	192	2.34
富岡 友子	186	2.26

(注) 1. 当社は、自己株式を193千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

■ 所有者別持株比率

